

一般部毛筆最優秀作品

(6月末日締切分)

(吉田成美先生評)



条幅規定

師範正 大平 松泉

大胆な運腕と豪快な筆致で落款まで見事に收められ威風堂々とした作品である。手本に捕われることなく自己の書を追求する精神は称賛に値する。「成家」を目指し、一步前進を。

条幅隨意

師範正 川久保由香里

日頃にない、可憐さと優美さを醸し出した作品ではあるが、何か物足りぬ感じがする。筆の選択ミスか、弱さと脆さが気になる。書業四十年位になればこういう書も良いかも知れない。

条幅隨意(臨書)

成家 秋永 春霞

大きな構えで、文字の懐を充分にとりながら、明るく大らかさを感じます。もう少し筆の浮沈を生かし、強さも加味すれば若き褚遂良の枯樹賦に近づくでしょう。更なる精進に期待します。

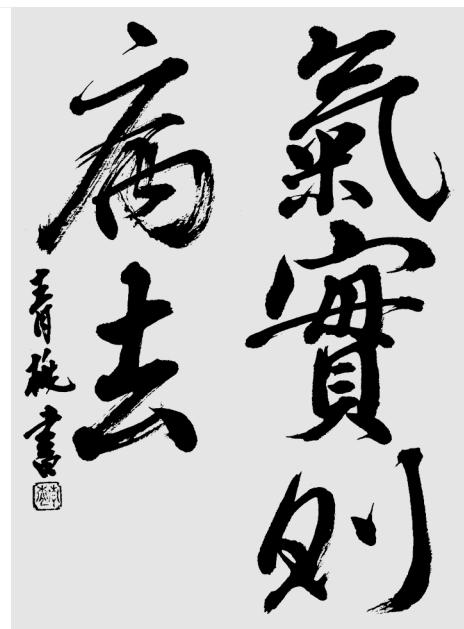
一般部毛筆最優秀作品

(6月末日締切分)

半折 $\frac{1}{2}$ 横

成 家 深町 鳳月

墨をつけた文字の重さを薄墨と余白でうまくカバーし、ひらがなも漢字に負けぬ動きで存在感を主張した調和のとれた快作です。表現力の豊かさに感服する。いい仕事は月例から生れる。



半紙隨意(臨書)

師範 谷山 照軒

墨量も充分、構えもしっかりととして真摯に臨んでいます。落筆を高く、抑揚をつけて書いてみましょう。用具にも気をくばり精進を。

半紙隨意

準7級 中谷 桂水

無理のない自然な運筆で流れるような線質が魅力的です。線に仮名的な風韻があり実力十分な作。これからが楽しみな逸材です。現代書の追求に期待する。

師範正 白石 青桃
運腕大きく、筆力もあり潤渴の変化も自然で実力の程が窺えます。落款にも強弱の変化が加われば申し分ない。まだまだ伸び代十分。

半紙規定

白石 青桃

学生部毛筆最優秀作品

(6月末日締切分)

(坂元紫香先生評)



学生部条幅

吉岡 真愛 小六二段
難しい課題でしたが、素直な線でバランス良く書けています。上位有段者に負けない力を持つています。今後も期待大です。

立、強やります。され良ほど品と初め中

一 高治 仁善 五段

向こうの流れ作枝夫

武 中二・三 気のこ
い線で
々と書
す。今
を意識
軽く握
ムに乗
ましよ

武田 千洸
三準特待生

小山隼人 小四 1級

後譜のけバで温者さす小
もとのてラ難かの

木原 羽衣
五 準五段
が上位有段
の作品です
味のある絵
らしい課題も
ンス良く書
います。"書
顔"として今
期待します

卷之三

小五 福

五 準四段 永彩乃
右前まで丁をよく観ていいと書けています。今後は“ハコ”“ハネ”をつくり書こうに良く思っています。

小二 準三段 中川 講理

小強いもたいらいたいもたました

三
茶園杏李屋
1級

： てからりとくに板が

小四 江

右 準二段
バランス、力強い
元気よく書
ます。今
年の元の部
墨をふく
しゅうひつ
終筆に気
ましよう。

学生部条幅

大里かなな
小一 準8級
けんきのよい
りつばな“かさ”
がかけましたね。
なまえもしつか
りとれんしゅう
がでています。
これからもがん
ばつてください。

硬筆部最優秀作品

(6月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

短歌は、およそ千三百年もの昔から人々に愛され続けてきた日本独特の詩の形です。それは五・七・五・七・七といつリズミカルな音数をもつ三十一音を基本としています。

千年以上の昔から、人々はどのようなものを楽しみ何を見て、どんな気持ちをいたいでいたのでしょうか。古典を読み、昔の人々の心にふれてみましょう。

人々は回る様子や回し
方で、やまざしまだ楽しみ
方のできる「まをたく
さん生み出してきた。

段 級	に	を	な	は
氏 名			が	ち
な る さ わ せ い な	い れ ま す 。	は な の	く ち ば し	ど り は 、 ほ そ

書譜 新緒の候、社会より多くの金を賃りて
我が家は四月に移転す。丁度一ヶ月経つた
ころです。別荘の際はお手伝ひいたゞきで、
誠にありがとうございました。
どうぞゴルゴンワイヤーは樂々と過ごされま
せ。私は、自室近くの公園で子供たちと砂遊びを
したり、子供は洋野菜のも構わず長いこと
遊び続けられた。感心したものです。
向署の折からご自愛くださいませ。

例えば、あなたがゲームに夢中になっているときには、集中していくので、時間を気にする回数が減ります。すると、時間はあつといふ間に過ぎるようになります。

何度も、成功や失敗をくり返しながら工夫を重ねる
と、自分にとつて最高のもの

段 級					
氏 名	さ	に	色	ニ	二
	こ	い	い	ニ	ト
田	花	が	マ	ト	マ
夏	の	ざ	ト	に	ト
ほ	形	ま	黄	ほ	黄
	は	ま			
	ま	し			
	す				

嫌われがちな季節だが、この國の文化
や暮らし、精神に欠かせないひと夏余
りだ。稻を育て、畑を潤し、山野にのみ
て夏場の水を蓄える。梅雨があれば
こそ、真夏の開放感は一層ほしい。

短歌は、およそ千三百年もの昔から人々に愛され続けてきた日本独特の詩の形です。それは五・七・五・七とい、フリーズミカルな音数をもつ三十一音を基本としています。

何度も、成功や失敗をくり返しながら丈夫を重ねると、自分にどうて最高のものを実げんできます。

人々は回る様子や回し方でぎまぎまな楽しみ方のできる「まをたくさん生み出してきた。

相良 百
中学 準二
書き始めから
前まで集中力
切らさずとて
落ち着いて書
いててしばらく
い作品です。
位有段者に負
ない力があり
す。期待大。

原口 美 小五 準三
さすが上位有者的作品です
ペンの使い方
上手で、漢字
平仮名のバラ
スがよく、明
くのびやかに
けています。

小三 漢字と平仮名
8 級とは思え
いほどすばら
い作品です。こ
からのふわり
んにきたいし
います！

なるさわせい
おてほんをよ
みてかたちよ
ていねいにか
ています。な
ままでしつか
とれんしゅう
できたりつぱ
さくひんです

まけ上じいもを右段力
さい。今後、更なる流れで、新しい音楽が生まれる様で、さ
きが見事で、無理のない、達したペースで、桶口清一師範に指し

書るところが段段空小六原今まで続けていた成度の高い牛です。さらば表れていて、た成果が作品張つて下さいの段位を目指してこれから

の級、さへしなし
小四 気のこもつと
い線で一字
ていねいに、
生けん命に結
した様子が生
に表れていま
名前までとこ
上手な作品で

なかりまいくく級な
佐田 茂
小二準西

陽正乾削ノ。自然下高ス。心こそ重ねた努力が宇宙を結びましたね。いつも楷書作習に目を奪われていましたが行書作品も見事。更なる精進に期待

六段尋
品に完
品に上
品指し
。頑
てくださいね！

明るくすつきりとした線にとてても魅力のある作品です。ベンの使い方が大人顔負けです。今後、"特待生"を目指してくださいね！

中学 準六段 阪田笑佳

小四 準8級 阿部さくら三
上位有段者に負けない力の持ち主です！ペンで上手に使い、最後まで気をぬくまでもう少し。期待大し

級帆	元	つ	マ	た	さ	明	小三	石橋
かが	ら	し	い	く	と	るくすつき	2級	厘乃
作品	に	て	ま	した	ねい	に書いてい		
で	る	う	ま	ます。	ます。	けんめいにお		
すよ。	けい	うけい	けい	こし	けい	けいこしたせ		